

やさかだよい 1 No. 106

八坂地域づくり協議会

<https://www.shinshu-yasaka.com>

2025 年（令和 7 年）1 月 1 日

1 月号の記事

新年のご挨拶	2
地域づくり協議会の活動から	3、4
地域活動	4、5
たけのこ保育園	6
八坂小学中学校（前期課程）	7
八坂小中学校（後期課程） /	8
コミュニティ・スクール	9
山留の風	10
八坂公民館	11
八坂地区文化祭	12
八坂秋まつり	13
話題の八坂人	14



＜令和 6 年 11 月 14 日にオープンした
新しい八坂診療所のスタッフの皆様＞

飯島所長（上）
宮崎看護師（左）、村治看護師（中）、田中事務員（右）
北澤送迎員（左上）

八坂地区の人口: 691 人
（男352人・女339人）
八坂地区の世帯:340 世帯
（令和 6 年 12 月 1 日現在）

新年のご挨拶



八坂地域づくり協議会
会長 竹本 明信

新年あけましておめでとうござい
ます。年頭に当たり新年のご挨拶を
申し上げます

日頃は、当協議会の事業につきま
してご支援ご協力を賜り心より感謝
申し上げます。

昨年は、新年早々に発生した能登
半島地震や、台風の影響による大雨
等で大きな被害に見舞われた地域も
ありました。また、八坂地区でも大
雪の影響で全域において停電が發生
しました。今後地震や大雨等によ
る災害の心配もあることから、万が
一に備え防災訓練等、日々の対策に
おいても万全な対応をしていかなけ
ればと改めて感じております。

さて、新型コロナウイルス感染症
も、5類に移行されたことにより各
種のイベント等もコロナ禍以前のよ
うな状況に戻ってきたように感じて
おり、地域の皆様が大勢集い、コミュ
ニケーションが図れる場所づくりが
できているように思います。

また、北アルプス国際芸術祭は9
月13日から11月4日まで開催され

ました。今回も、八坂地区でのアート
作品では、地域の皆様がボランティア
として制作にご協力をいただきました。
完成した作品には、多くの鑑賞者
が来場され賑わいを見せており、地域
の魅力発信とともに参加者等との交流
が深まったことと思います。

協議会関係の事業では、八坂ビユー
ポイント整備の活動も春には、八坂商
工倶楽部との共同により継続して相
川、大曲の県道沿いの花植えを行い、
秋には八坂ボランティア隊の皆さんに
応援いただく中で、唐花見湿原遊歩道
の清掃、整備等を行うことができました。

8月には大町やまびこ祭りに「八坂
おどり連」として70余名の大勢の皆さ
んが参加し一致団結した踊りで、見事
に特別賞を頂きました。また、地域間
交流事業であります「八坂秋祭り」で
は、ジャグリングショーやお楽しみ抽
選会、打ち上げ花火なども行い、大勢
の皆様がそれぞれに楽しみ、交流を深
めることができました。今後とも、協
議会関係等の事業に積極的なご参加
をお願いいたします。

八坂地区でも過疎化、少子高齢化が
進み、自治会活動の停滞が心配される
状況もありますが、今後とも地域の皆
様が安心して住み続けられるよう取り
組んでまいります。

本年が皆様にとりまして、良い年と
なりますようご祈念申し上げ新年のご
挨拶とさせていただきます。

新年のご挨拶



八坂支所長
海川 仁志

新年あけましておめでとうござ
います。

年頭にあたり、新春のご挨拶
を申し上げます。

日頃は市が行う様々な事業の
推進にご理解とご協力を賜り、
厚く御礼申し上げます。

また、地域の活動に対し、自
主的かつ積極的な取り組みを
いただき、重ねて心より感謝を
申し上げます。

さて、八坂地域の皆様の優し
さと温かさに触れさせていただ
き、2度目の新春を迎えること
ができました。

昨年は新八坂診療所のオープ
ンや北アルプス国際芸術祭の開
催、また多くのイベントや行事
の開催等、せわしくあつという
間に時が流れた印象の年となり
ました。

新八坂診療所は地域医療の拠
点をより安全で安心して、また
より快適にご利用いただけるよ

う、地域の方々からのご意見や
費用面での検討が幾度と重ねら
れ支所敷地内に新設されまし
た。この新しい診療所が、八坂
地域の皆様の拠り所となり、ま
た市民一人ひとりの健康づくり
のお手伝いに役立つ施設となり
ますよう、以降、支所職員も一
丸となり管理運営に取り組んで
いく所存であります。

また、国際芸術祭では、新た
に二つの作品が八坂地区内に設
置され、材料の準備から製作ま
で、地域の皆様と作家が一体と
なりいずれの作品も完成され、
期間中は多くの来訪者によりに
ぎわいました。

支所3階のベランダを利用し、
展望デッキも記念企画として
オープンし、多くの皆様に空と
山並みに包まれた作品を風景と
共にご覧いただきました。

三度目の芸術祭の開催によ
り、現代アートの魅力をなお一
層感じることができ、作品から
放たれる感動の数々を体験す
ることが出来ました。

この度の芸術祭にかかわった
全ての皆様に感謝を申し上げま
す。

結びに、八坂地域の皆様方お
一人お一人が、本年も楽しく安
心して幸せに過ごせることをお
祈り申し上げ、新年のご挨拶と
させていただきます

地域づくり協議会の活動から

	区 分	内 容 等
11/4	北アルプス国際芸術祭 2024 閉幕	・会期R6/9/13～R6/11/4
11/12	やさかだより編集委員会	・1月号記事の内容について
11/12	八坂太陽光発電施設合同現地踏査	・城南エナジー・藤巻建設
11/17	八坂ビューポイント整備「唐花見湿原周辺整備」	・湿原内の木道整備他

北アルプス国際芸術祭、八坂公民館「竹の波」惜しまれながら解体



県内外のメディア取材も多く、北アルプス国際芸術祭の作品の中でも特に注目され評価の高かった「竹の波」もあっという間に解体されました。

11月13日（水）八坂太陽光発電施設合同現地踏査



11月13日（水）、協定に基づく本年度の合同踏査を実施しました。明野地区にある両発電施設を協議会役員と設置業者、県、市の合同で見回り、発電設備の状況や排水施設等が適切に管理されているか確認を行い、気が付いたことや要望等を業者に伝えました。

11月17日（日）八坂ビューポイント整備 唐花見湿原整備



11月17日（日）八坂地域づくり協議会はやさかボランティア隊と合同で八坂ビューポイント整備、唐花見湿原の整備を行いました。当日は雨の予報にもかかわらず暖かく穏やかなお天気で作業しやすい陽気でした。作業としては、木道の清掃や板の修繕、木道にかかる枝払い等を行いました。当日はやさか支所の職員の皆さんや川手方面からの方も応援に駆けつけていただきました。昨年は突然の大雪で中止になりましたが、作業ができませんでした。今年度は、芸術祭もあり、



作業の手順を説明する北澤地域振興部長（やさかボランティア隊長）



なかなか作業することができませんでしたが、来年度は春から初夏にかけて計画し防腐剤を塗布したいと思います。やさかボランティア隊長の北澤豊繁さんの「たけのこ汁」の差し入れは、絶妙な味わいでとてもおいしかったです。北澤さんありがとうございます。

地域の活動から



石原スマイルクラブバス旅行

石原スマイルクラブ（石原シニアクラブ）は11月10日（日）にバス旅行を行いました。最初に立ち寄った「松本市四賀化石館」では様々な化石を鑑賞し、中でもクジラの全身骨格としては世界最古の大発見と言われ「シガマッコウクジラ」と名付けられた化石は見ごたえがあり、参加された方々も興味深く観賞しました。その昔信州は海だったようで、四賀地域もかつては海の中でクジラが泳いでいたそうです。次の「信州ゴールデンキャッスル」は宮殿のような建物で中も拝見したかったのですが



残念ながら拝見することはできませんでしたが、建物をバックに記念撮影。

お昼は松茸山荘で、数々の松茸料理に舌鼓を打ち、お話がはずみ楽しい時間を過ごすことができました。お天気にも恵まれ穏やかな陽気で楽しい一日となりました。皆様お疲れ様でした。

野平ラベンダー園整備

野平自治振興会は、12月1日(日)第4回の道路愛護作業終了後に瀬口と野平中の2つのラベンダー園に分かれ、今年最後の整備作業を行いました。今年は猛暑が長く続きラベンダーにとっては厳しい環境であったと思います。秋が過ぎ冬を迎えても異常気象が続き、通常12月は、草刈など必要ない季節ですが、今年は様子が違って草刈機が活躍する状況でした。そのため多くのラベンダーが枯れてしまいました。



従来はあまり枯れない一番目立つ場所が枯れてしまい、片づけた株で山となりました。今年のラベンダー園作業はこれで終了となりますが、来春の苗の補植を早めに行いラベンダーまつりに備えます。毎年「やさかボランティア隊」の皆様にもご協力いただき、地域住民はとても助かっています。令和7年もぜひご協力をお願いします。

野平自治振興会編集委員

寺島長二

舟場自治振興会バス旅行 北アルプス国際芸術祭バスツアー



舟場自治振興会は、10月20日(日)に北アルプス国際芸術祭を巡るバスツアーを行いました。正副会長で下見を行い駐車場から余り遠くないところ、見逃せない作品などを考慮し選りすぐりの計画を立てました。

写真は中でも印象的な木崎湖エリアの布施知子さんの折り紙による「紙の庭園」、ケイトリン・RC・ブラウン＆ウェイン・ギャレットの「ささやきは嵐の目のなかに」の前で記念撮影しました。

たけのこ保育園

発表参観、楽しかったよ♪

12月5日(木)に発表参観を行いました。

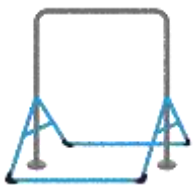
4月から歌ってきた歌や体操を発表したり、三匹のヤギのガラガラドンの劇、きりん組さんうさぎ組さんの合奏、りす組さんひよこ組さんの楽器あそび、盛りだくさんでした。子どもたちが一生懸命練習してきた成果が発揮されていて、とても感動しました。たくさんのお客さんを前に緊張するかと思いましたが、最後まで笑顔で楽しく発表ができました。一人一人が練習の成果を発揮し、大きな成長を感じることができた発表参観になったと思います。



巡回運動教室に参加しました

11月7日(木)に巡回運動教室を行いました。サーキット遊びや、鉄棒を講師から教えていただきました。サーキットでは、ケンケンパや一本橋やトンネルくぐりをテンポよく進み体の様々な部位を動かすことができました。

鉄棒では、講師に補助をしていただき、鉄棒の握り方や、回るコツを教えてくださいました。



ハロウィン交流でお兄ちゃんお姉ちゃんと遊んだよ

10月30日(水)にハロウィン交流で3年生のお兄ちゃんお姉ちゃんと交流がありました。小学生から、歌あそびや、鬼ごっこを教えてくださいました。

園児たちも仮装して参加しました。最後に小河副校長の魔女!が現れてお菓子をいただきました大喜びでした。



マラソン記録会～情報モラル講習会を行いました！

八坂小中学校 前期課程

11月15日（金）には、マラソン記録会、情報モラル講演会、そして授業参観と、大勢の皆様が学校に足を運んでいただきありがとうございました。



修学旅行に行ってきました！



10月30日（水）31日（木）の2日間をかけて、6年生が修学旅行に行ってきました。たくさん歩きましたが、たくさんのことを学んだ貴重な2日間となりました。「最後にみんなが楽しかったと言える修学旅行にしよう！」と立てた目標を、みんなで達成することができました。

なかよし集会を行いました！

11月12日（火）には、6月から育ててきたサツマイモを焼き芋にしました。焼けるまでは、リーダー委員会、きずな委員会の進行で、全校でレクリエーションをして楽しみました。甘くて、おいしい焼き芋の味でした。



やさか人間塾での取り組みを

後期課程では、毎年「やさか人間塾（総合的な学習の時間）」に、“八坂を発信しよう”と生徒一人一人が考え、一年間様々な活動を行っています

食グループでは、大田市文化公園芝生広場で行われた「つながるマルシェ」（今年度は、9月7日（土）に行われ例年よりも1か月早い出店となりました。）と「北アルプス国際芸術祭」（10月21日（土））に参加してきました。カウベル立田屋さんとコラボしたラベンダークッキーの販売と自分たちで作ったおやき、ヨモギクッキー食べていただき、感想をお聞きました。次の活動につながる感想をたくさんいただきました。八坂地区の方々にもたくさんご協力いただき、ブースを盛り上げていただきました。ありがとうございました。



【北アルプス芸術祭】の様子

※2回目の活動になるとお客様とのコミュニケーションがスムーズになりました。



八坂小中学校 後期課程



【つながるマルシェ】の様子

※緊張感がみられます。

STI部はイベントに参加してくださる八坂の方々との連絡調整を行い、食グループの宣伝活動をしました。

自然グループ・吉嵩ISLANDは、八坂の地図や見どころをまとめたホームページを作成し、北アルプス芸術祭に観光にきていた方々に見ていただいたり、八坂の見どころを伝えたりしていました。

今回、参加しなかった生徒も「化石」「民話」「水生昆虫」などについて調べ、まとめる作業をしています。

コミュニティ・スクールだより

おらほの学校やさか



地域で子どもを育てるためのコミュニティ・スクールの集い

11月22日（金）に八坂学校運営協議会主催の「コミュニティ・スクールの集い」が開催されました。参加者は、子どもたちから大人まで58名とたくさんの方に参加していただきました。地域の方々16名、20名の前期・後期課程の児童、生徒も参加してくれ、意見交換では、とても積極的な前向きな意見も多く聞かれました。昨年に続き、八坂小中学校に通う山村留学生全員参加していただきました。

はじめに八坂小中学校の永田校長先生、三枝祐紀先生から「授業づくり」や「地域の方との活動」についてお話をいただき、グループでの意見交換では、『地域のみなさんと共につくる学校とは』をテーマに話をしていただき、各グループの代表者（前後期課程児童生徒）に発表していただきました。

子どもたちの純粋に「今やりたいこと」の意見も多く聞かれた貴重な時間となりました。

～前期課程5年生 田んぼ活動記録(最終章)～

収穫祭 10月15日(金)



朝早くからの火起こしから始まり、育てたお米を使っておにぎりなど、花岡慶祐先生と親子一緒に準備をしていきました。子どもたちは、自主的にやることを見つけて取り組む姿や、他の親子同士のコミュニケーションも取りながら楽しく笑顔に溢れていました。

今年も草刈や獣対策などをしていただいたおかげで無事にお米づくりが行えましたが、地域の方々の協力あってこそ出来た活動でありました。学校支援ボランティアの北澤豊繁さんや山村留学センター指導員の大山楽人さんに会の中でお礼の気持ちをたくさん伝え、和やかな収穫祭となりました。5年生の成長した姿にたくましさを感じた1日となりました！！

11月30日(土)、「郷土ふれあい体験学習」をPTA、公民館、学校の三者共催による開催しました。学校支援ボランティア、老人クラブ、八坂元氣会、地域から講師として26名の方々にお越しいただき、全参加者163名での開催となりました。

はじまり、終わりの会を前・後期課程校舎とアキツホールの3カ所に分かれて、オンラインで行い、今年は、前後期課程の6年生、7年生に実行委員として加わっていただき、講師紹介や各ブースの責任者としても携わっていただきました。

～郷土ふれあい体験学習～



体験学習は、昨年同様7つのブースを用意し、「竹細工」、「灰焼きおやき」、「青竜太鼓」は前期課程校舎、「木工ワークショップ」、「木工クラフト」は後期課程校舎、「わら細工」はアキツホール、「そば打ち、そば薄焼き」は体験館に分かれて行ないました。

竹細工は、今年は男の子中心のブースとなり、弓矢、竹でっぼう、竹とんぼなどを作り、作り終わると弓矢や竹でっぼうなどで無邪気に積極的に遊ぶ大人と子どもたちの姿が印象的でした。

灰焼きおやきは、いろりやドラム缶にて灰焼きおやきを作りました。今年は例年になく、作業が早く、出来上がったホクホクしたおやきをその場で食べることができ、講師の方々や参加者も笑顔一杯で賑やかなブースとなりました。

わら細工は、おやすやしめ縄を作りました。講師の方と終始和やかに談話しながら指導を受け、優しく細かく丁寧に教えていただき、個性に溢れた作品が出来上がりました！そば打ちは、八坂元氣会を中心に協力してくださり、細かい所やコツまで丁寧に教えてもらい、講師の方々も参加者の集中した作業姿を笑顔でみつめる姿が印象的でした！





「木工ワークショップ」は、山仕事創造舎から3名来てくださりました。子どもたちと一緒に木を重ねて積み木のように遊ぶ姿あり、大人参加者は、子どもたちと集中して作成していて、作品が出来上がった時のほっとした表情が印象的でした。

「木工クラフト」は、八坂小中学校OB保護者に講師として来ていただき、「金太郎と熊」のキーホルダーを作成しました。静かに集中して作業が進められていて、講師や先生方、保護者と会話を交えながら、ゆったりと楽しまれていました。

「青竜太鼓」のブースは、昨年よりも人数を少なくし、みっちりと指導していただきました。最初から積極的に太鼓を打ち、音が合っていくのも早く、そして、音が合ってきたことを実感する参加者たちの嬉しそうな表情は、とてもかっこ良かったです！

終わりの会では、ビデオ撮影してオンラインでみんなに観ていただき、各ブースから子どもたちが作品を見せ、代表児童・生徒から感想を述べ、講師の方々からも講評をいただきました。

ふれあい運動会同様に八坂小中学校で大切な行事となっている『郷土ふれあい体験学習』は、地域の方々の協力あつての活動となっています。
生徒・児童講師の誕生も期待しています！！

山留の風

育てる会 TEL:26-2306 HP:www.sodateru.or.jp

第49回 収穫祭

自然の恵みへの感謝や、日頃からお世話になっている地域の皆様への感謝を学園生が表現する場として、今年もセンターで収穫祭を開催しました。

1日目は「感謝の式」から始まりました。センターの前庭に設けた祭壇に新米や野菜をお供えし、学園生が春から行ってきた稲作や畑作の体験を農事暦として発表して、自然の神様への感謝をささげました。午後からは、学園生が個々の興味関心に基づいて取り組んできた「個人体験」の発表や、太鼓や民舞も交えた創作劇を全体発表で披露しました。個人体験では多くの学園生が地域の方に知識や技術を教えてもらい、その個性豊かな体験を自分の言葉で発表することができました。全体発表では、これまでの練習の成果を思う存分発揮し、多くの方々からお褒めの言葉をかけていただきました。そして夜は、学園生と保護者がホームステイ受け入れ先の農家さんを囲み、会食を行いました。山留OBも大勢参加し、演目発表等で大いに盛り上がりました。



2日目は現役保護者が主体となった模擬店と、農家さんによる農産物の販売会が行われました。農家のご近所さんや、学校の先生、クラスメイトなど、たくさんの方がセンターに足を運んでくださり、日ごろの感謝を伝えることができました。農家物産でも、スーパードでは買えない立派な収穫物や、ジャムや漬物など手の込んだ加工品が並び大盛況となりました。
今年度も、地域の皆様の支えがあつて無事に収穫祭を終えることができました。日頃からのご理解とご協力に、心から感謝いたします。ありがとうございました。

八坂公民館文化財巡り

11月9日(土)大田市文化財センターと共催により八坂塾「文化財巡り」を行い、市内外から22名の参加者が集まりました。

ふれあいセンター「さざなみ」に集合し、先ずは、上籠集落の山沿いにある「舟場寝ず見山城跡」に到着。現地には、「ほころ」が有り、戦国時代には、犀川の対岸側は、松代藩の領土であることから、「見張り場」としての役割をしていたとの説明がありました。30分程休憩を取りいよいよ目指すは「野田城」へ出発、地元の案内の方の説明だと普段は、旧中の沢集落から旧野田集落を経由して「野田城」へ向うルートが普通ですが、当日は、天候にも恵まれ秋の紅葉や山々の景色を見るにも絶好の日和であることから、山の尾根沿いを登り「野田城」に向かいました。市内からの参加者には、歩きながら景色の撮影をしている方々も多くいた。また、旧野田集落に到着した時には、生活の跡をほのめかす様な、物が有り、「実際にこの地で生活していたんですね。」と話しかける参加者もいました。



その場所から約15分程度登った場所に目的地の「野田城」に到着。目の前には、昨年登った「雷電城跡」(城が峰山城跡)その先には、北アルプスの山々や右手には、「大姥山」がそびえ立ち、下には川手地区や対岸の長野市(旧大岡村)が見える場所でした。

参加者の多くの方の感想を聞くと、歴史を知るには、この様な山々に残る城跡に来ることが大切と語る参加者もいました。





八坂公民館は、関係機関や団体の皆さんによる実行委員会を組織し、10月26日、27日に八坂小中学校そよかぜ校舎(旧八坂小学校)において文化祭を開催しました。今年も八坂秋まつりと同時開催ということもあり、300人を超える大勢の方が来場しました。

展示作品では、小中学生や保育園児の作品をはじめ、書道、陶芸、コミュニケーションスクールなど、活動の成果となる作品が並びました。また、シアークラブによるコケ玉展は、身近な自然素材を使って工夫を凝らした力作が多く展示されました。

ステージ発表では、保育園児のおゆうぎや小中学生の日頃の学習の成果、山留太鼓の発表に続き、舞踊、善亭穴太さんによる落語など素晴らしい発表がされました。

また、食を楽しむ会のすいとんの振舞や駐車場で行われた「賑わい広場」では、大北農協や郵便局の物産販売、八坂元氣会によるやきそばの販売等が行われ、賑わいを見せていました。

八坂地区文化祭





2024 八坂秋まつり



支所長賞



1等賞



協議会長賞

10月26日の八坂文化祭初日の夕刻、地域間交流事業「八坂秋まつり」を開催しました。会場の都合で足湯が中止になりましたが、無料の綿あめや、ポップコーン、輪投げ等の夜店、ジャグリングバラエティショー、お楽しみ抽選会などを楽しみました。抽選会では八坂地域づくり協議会長賞、八坂支所長賞を出していただき大いに盛り上がりました。その後、校庭に移動して迫力ある花火を楽しみましたがその際、八坂公民館のアート作品もあり消防団の方には火災警備に大変お世話になりました。ありがとうございます。

かみお なおき はるか
神尾直樹さん・悠さん(一ノ瀬)



松本旅行でたまたま出会った“もう中学生さん”と。

神尾直樹、悠です。

長野県が好きで毎年旅行に来ていました。一昨年、悠の祖母が亡くなり、祖母の家を譲り受けることとなり岐阜県美濃加茂市から昨年12月、一ノ瀬へ引っ越してきました。

現在は農家として夫婦で独立したいという夢を叶えるため大町の農家さんの元で研修させてもらいながら暮らしています。八坂の暮らしも周りの温かい人たちに支えられたいが慣れてきました。これからもよろしく願います。

追悼

令和6年10月12日に切久保自治振興会長の勝野明盛さんがご逝去されました。

切久保自治振興会長及び八坂地域づくり協議会委員として地域の活動に御尽力いただきました。

謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

※12月15日に切久保自治振興会の臨時総会が開催され、後任に勝野健一さんが決定しましたのでご報告申し上げます。

編集後記

昨年1年を振り返ると、個人的には友人が亡くなったたり、5年ぶりに実家に家族で顔をだせたりと、日々の暮らしや仕事を丁寧に通しました。

昨年、大町市では北アルプス国際芸術祭が開催され、八坂地区でも3作品の展示がありました。その中でも特に八坂公民館のヨウ・ウェンフーさんの「竹の波」は大きな話題となり、県内外からの大勢の来場者がありました。

うれしい事、悲しい事色々ありました。こうして元気に日々過ごせる奇跡に感謝し、目の前の「人」「事」「物」との一期一会を大切に、令和7年も引き続き淡々と過ごしていきたいとおもいます。

寒い冬、皆様もどうぞご自愛ください。

皆様にとって、新年が素敵な年になりますようお願いいたします。

中央自治振興会編集委員

遠藤由章